

氏名

齋藤高弘 (SAITO Takahiro)



研究室名

生物環境調節学研究室

TEL

028-649-5501

FAX

028-649-5508

E-Mail

saitot@cc.utsunomiya-u.ac.jp

生年月

1961年10月

最終学歴

東京農工大学大学院連合農学研究科博士後期課程修了

学位

博士(農学)

専門分野

生物環境調節学、食品科学

研究発表

- 1 Evaluation of bacterial communities by bacteriome analysis targeting 16S rRNA genes and quantitative analysis of ammonia monooxygenase gene in different types of compost (Journal of Bioscience and Bioengineering・2016)
- 2 光質がリーフレタスの生育と抗酸化能へ及ぼす影響(生態工学・2015)
- 3 大豆麴を加えた味噌原料の熟成中の抗酸化性の変化(生態工学・2014)
- 4 ORAC法による清酒製造工程の抗酸化性の変化(日本醸造学会誌・2012)
- 5 蛍光分光法を用いた清酒製造工程における麴菌活性評価技術の開発(日本醸造学会誌・2011)
- 6 AHPによる閉鎖系システムにおける廃棄物処理法の評価(生態工学・2011)
- 7 化学発光法を用いた清酒の熟度・抗酸化能の評価(日本醸造学会誌・2009)
- 8 ヤギ糞の嫌気性発酵処理における発酵特性と消化液の利用(生態工学・2008)

主たる授業科目

環境調節学・生物環境情報学・計測法・基礎数学・農業と環境の科学

学協会活動

生態工学会副会長・理事、生物環境工学会、農業施設学会、農業食料工学会、日本食品科学工学会

社会活動

宇都宮市農業技術高度化研究会座長

受賞等

CELSS学会論文賞(1998)生態工学会論文賞(2005)生態工学会学術賞(2008)
日本農業工学会フェロー(2021)

自己紹介

東京で生まれ1浪後、東京農工大学で学部、修士、ハワイ大学、博士、そして航空宇宙技術研究所を経て宇大へ来ました。学生時代、数学・物理が苦手な化学・生物・英会話が好きで農業工学でやっていけるか不安でしたが、なんとかやりぬけて今生きています。クラブはグリーンクラブ(男声合唱団)で真面目に歌など歌っていました。家族は妻、小学校教員の長男、民間会社勤務の長女です。ヨークベニマルのそばの「ピンクの家」に、妻と二人暮らししています。年に1度は海外旅行、月に1度はゴルフを...と思っています。皆さんと一緒に学び・遊べるのを楽しみにしていますので、どうぞ宜しくお願いします！

研究室紹介

農業の施設園芸の現場から宇宙空間まで広い範囲を守備範囲としています。キーワードは「食の安全と物質循環」です。世界では飢える人がいる反面、日本では食があふれ、その農法(無農薬・有機農法)や品質、さらに機能性が問われています。そのための科学的で簡便な検査手法やそのルール作りに取り組んでいます。一方で、「宇宙で人が暮らす」ために重要となる酸素・水・食料をどのように生産し、廃棄物を再利用するための技術開発も担当していました。まるで『ミニ地球』を作るようなもので、ポイントは物質循環です。現在のテーマは下記の通りになります。一緒に取り組んでみませんか！(日本酒・ビール・植物工場野菜や花、アスパラガスや食に興味ある人はwelcomeです。)

研究テーマ一覧

- 1 アスパラガスの品質評価と効率的な栽培方法の開発
- 2 ビール用ホップの苦味・香り成分の特性の評価
- 3 美味しい日本酒・ビール造りのための品質評価技術の開発
- 4 植物工場における食用花(エディブルフラワー)の栽培技術の確立
- 5 立体造形と機能性を兼ね備えた3Dフードインクの開発